

## 授業改善等に関する報告書（2020 年前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎栄養学	中村 彰男	皆さんが憧れの実践女子大学に入学されて直ぐの講義が、COVID19の影響で前期はオンデマンド配信となりました。私自身は動画作成や動画配信など初めての試みでしたが、普段の講義と遜色ないように努めました。大学の講義はつまらなくても面白くてもコミュニケーションを取れる対面で行うのが理想だと思います。限定Youtubeを用いた配信としました。皆さんからは良かったというコメントを頂きありがとうございます。でも、もし対面で行っていたらもっと皆さんと議論を交わせたと思っています。大学の講義は高校までの受け身的な授業ではなくて、講義中は専門科目に関して学問的な議論を行います。後期もオンデマンドとなりますが、自分で主体的に学ぶ力を養って下さい。一緒に頑張りましょう！中村彰男
給食経営管理 b	山岸 博美	初めてのメディア授業で、たくさん迷惑をかけてしまいましたが、皆さんの協力のもと15回終えることができました。
ライフステージ栄養学 b	於保 祐子	初めてのWEB配信授業でしたが、概ね好評だったようで安心しています。講義後にオンデマンド配信も希望がありましたので、今後検討します。ライフステージごとに特に注意すべき栄養学的なポイントを整理して、今後の実際の献立作成や栄養カウンセリングに役立ててほしいと思います。特にライフステージ栄養学b では、生活習慣病、高齢期の変化の理解とそれらへの対応が大事です。
食品加工学実習	守田 和弘	実習おつかれさまでした。総合的な満足度が全体平均よりかなり高いことから、満足いただけたものと思います。コロナの影響によって回数が減少し、詰め込み型の授業となりましたが、無事終わられてよかったです。次年度はもう少し余裕を持った授業を展開したいと考えています。
公衆衛生学 a	佐々木 溪円	オンデマンド方式に関する意見も含めて様々な意見をありがとうございます。今般、新型コロナウイルス感染症の検査や対策が政策論争の道具にされてしまったり、「新型」「未知」という言葉による恐怖感で過剰な対策が見られたりしています。保健医療従事者を目指す者として、大学の授業を切っ掛けとして、疑問点は自分で調べて考える学習を今後も続けていただけますと幸いです。
公衆栄養学実習 b	佐々木 溪円	多くの貴重な意見をありがとうございます。また、ラッシュアワー対策を求められたこともあり、不安がある中での実習開始となり申し訳ありませんでした。次にこのような社会的パニックがあったときに（ないのが良いのですが）、参考にさせていただきます。一方で、他大学には、大学本部等の判断で保健所実習を中止にさせられた大学もあります。内容は不十分と思いますが、今回の実習機会を貴重な経験にしていいただければ幸いです。
臨床栄養管理総論	高橋 加代子	・音声がないオンデマンドでしたので、理解しにくい点があるようでした。今後は、対面が可能であれば、直接説明してあげたいです。今後、対面からリモートへの変更があれば、Zoomなどの音声が発信できる様に努めます。 ・学生の方々は、臨床について理解できているようにコメントしてあり、安心せずに後期でも不足分を補っていききたいと思います。
臨床栄養学実習 b	松島 照彦、高橋 加代子	・実習に行くにあたり、理解してほしい点を捉えてくれているコメントが多く、実習に期待したいです。 ・学生が実習で困らないように、十分に注意のポイントを指導し、実習が無事に終了できることをサポートしていきます。
特別講義 a	於保 祐子、中村 彰男	特別講義aは4年間の栄養学・解剖生理学の総復習としての内容でしたので、難しいところも多かったとおもいます。後期の総合演習aの授業につなげてゆければと思います。於保祐子  今年はCOVID19の影響で「特別講義a」は限定YouTubeによる動画配信としました。私自身は動画作成や動画配信など初めての試みでしたが、普段の講義と遜色ないようにできるだけ努めました。大学の講義はつまらなくても面白くてもコミュニケーションを取れる対面で行うのが理想だと思います。特に生化学や基礎栄養学は暗記ではなく理解するところが重要です。一度、きちんと理解したら決して忘れないし、応用問題の理解にも繋がります。「特別講義a」では上手く皆さんに説明が伝わったかが心配でしたが、皆さんからは良かったというコメントを頂きありがとうございました。国試勉強も大切ですが、大学4年間の集大成として是非とも自分で主体的に学ぶ力を養って下さい。後期も一緒に頑張りましょう！中村彰男
微生物学	守田 和弘	コロナの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。

[2020（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎調理 2	中川 裕子	限られた時間の中で、デモを集中して聴く姿勢やチームワークの良さがみられた。レポートの提出状況、内容も優れていた。 Q13よりこの分野をさらに学びたいと思った人が多くいたので、今後さらに調理の楽しさを感じられるような実習内容を工夫していきたい。 補講課題について、食材および調理器具の準備などに配慮が足りなかったことが反省点であるため今後検討する。
食品衛生学 a	井部 明広	オンデマンドではあったが、対面よりも学生みなさんの個々の声が聞けたと思う。対面においても質問等をしやすくしたい。レポートも授業時間中の短時間によく書いてくれた。
栄養生理学	奈良 典子	前向きなご意見有難うございます。今後の授業に反映していきたいと思いません。
調理学	中川 裕子	zoomでの双方向形式については、対面と変わらないような感じで受けられたという意見があり、Q4の理解度についても平均と同程度であった。 興味深く授業に取り組み、日常生活や実習と関連させながら学んでいた学生がみられてよかった。 授業の進むペースや課題のフィードバックについて意見があったので、今後改善していきたいと思えます。
公衆栄養学 b	森川 希	履修者の学習状況は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。「この授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに対して、ほとんどの方が「十分に理解できた」「まあまあ理解できた」「ほぼ理解できた」いずれかの回答されていました。 授業の内容・方法については、全体平均をやや上回っていました。双方向とオンデマンドの組み合わせ方式が好評だったようです。 例年ですと、マイクの音が聞き取りにくいことがあったり、パワーポイントの送りが速いといった意見が出ることがあったのですが、スライド資料を配信したり、録画動画を配信したことでこれらが解消されたようです。 当初はやむを得ず従来方式から変更したことで、かえって改善される部分のあるなど、教員側としても新たな発見が多くありました。 今後も、授業形態に関わらず皆様が学修をすすめるやすいよう、工夫していきたいと思えます。
栄養教育各論 a	辛島 順子	「栄養教育各論a」では、管理栄養士が栄養教育や栄養指導を行う際に重要な行動科学理論やカウンセリングについてを中心に学びました。オンデマンド型の講義では理解が難しい理論もありますので、可能な限り具体的な事例などを交えて解説を行いました。 事例を取り入れたことと、講義資料に音声を追加したことが「理解しやすい」「取り組みやすい」「頭に入りやすい」という回答につながったと考えており、今後のオンデマンド型講義も同様の方法で継続します。 3年次の「栄養教育論実習a」においては、「栄養教育各論a」で学んだ理論を中心に実習を行います。これらの学びを総合して、今後の臨地実習でさらに理解を深めてください。
臨床栄養学 a	松島 照彦	オンデマンドで大変だったと思います。先生も不慣れなもので済みません。コロナの琴を別にしても、これからデジタルの時代になるので、先生も勉強していこうと思います。
生化学 a	中村 彰男	皆さんが憧れの実践女子大学に入学されて直ぐの講義が、COVID19の影響で前期はオンデマンド配信となりました。 生化学aは基幹講義の中でも大変重要な科目です。今回は限定YouTubeを用いた配信としましたが十分理解して頂けたかどうか心配でした。しかしながら、皆さんからは良かったという多くのコメントを頂きありがとうございます。でも、もし対面で行えていたらもっと皆さんと議論を交わせたと思っています。 大学の講義は高校までの受け身の授業ではなくて、講義中は専門科目に関して学問的な議論を行います。 後期もオンデマンドとなりますが、自分で主体的に学ぶ力を養って下さい。一緒に頑張りましょう！中村彰男
栄養教育各論 a	辛島 順子	「栄養教育各論a」では、管理栄養士が栄養教育や栄養指導を行う際に重要な行動科学理論やカウンセリングについてを中心に学びました。オンデマンド型の講義では理解が難しい理論もありますので、可能な限り具体的な事例などを交えて解説を行いました。 事例を取り入れたことと、講義資料に音声を追加したことが「理解しやすい」「取り組みやすい」「頭に入りやすい」という回答につながったと考えており、今後のオンデマンド型講義も同様の方法で継続します。 3年次の「栄養教育論実習a」においては、「栄養教育各論a」で学んだ理論を中心に実習を行います。これらの学びを総合して、今後の臨地実習でさらに理解を深めてください。

[2020（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
臨床栄養学 a	松島 照彦	オンデマンドで大変だったと思います。先生も不慣れなもので済みません。コロナの琴を別にしても、これからデジタルの時代になるので、先生も勉強していこうと思います。
健康管理論	佐々木 溪円	オンデマンド方式に関する意見も含めて様々な意見をありがとうございます。今般、新型コロナウイルス感染症の検査や対策が政策論争の道具にされたり、「新型」「未知」という言葉による恐怖感で過剰な対策が見られたりしています。皆さんにとっては、思い描いた大学生活とは異なる世界になってしまい、失われた時間も多かったと思います。健康危機には感染症だけでなく、食生活に関する事象も多々あります。これから4年間で、食生活のプロフェッショナルとして健康危機にも対応できるような専門職を目指して下さい。活躍を期待しています。
基礎栄養学実習	松島 照彦, 中村 彰男	今年の「基礎栄養学実習」はCOVID19下で前期に行えた対面実習でした。他大学では実習を諦めたり、オンデマンド配信での対応をしている中、実践女子大学では例年と同様に事故もなく実習が無事に終了できたのは皆様のおかげです。松島先生と私も、この「基礎栄養学実習」を通じて、皆さんに観察眼とコミュニケーション能力を高めて頂ければ幸いです。これからも頑張ります。中村彰男
臨床栄養管理実習	高橋 加代子	・連絡の不手際に対するコメントがあり、自身も反省しています。教員も、このような事態に順応する必要がありますが、学生への対応がスムーズにできるように努めます。 ・授業に関して、理解してほしい点を的確に書き込んでくれており、安心しました。今後の授業でも補足していきたく思います。
総合演習 d	森川 希, 山岸 博美	履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。Zoomを使用した双方向授業により、演習形式の授業も、比較的体面授業に近い感覚で実施できることがわかりました。総合演習の目的は国家試験合格に限ったものではありませんが、様々なアプローチで問題を解くことを介して、各自が苦手分野を見つけ、結果的に得点が上げられるような工夫を今後も検討していきます。(森川)
健康管理論	佐々木 溪円	オンデマンド方式に関する意見も含めて様々な意見をありがとうございます。今般、新型コロナウイルス感染症の検査や対策が政策論争の道具にされたり、「新型」「未知」という言葉による恐怖感で過剰な対策が見られたりしています。皆さんにとっては、思い描いた大学生活とは異なる世界になってしまい、失われた時間も多かったと思います。健康危機には感染症だけでなく、食生活に関する事象も多々あります。これから4年間で、食生活のプロフェッショナルとして健康危機にも対応できるような専門職を目指して下さい。活躍を期待しています。
総合演習 c	於保 祐子, 山岸 博美	初めてのWEB授業でしたが、概ね好評だったようで安心しました。応用栄養学の範囲も含め1年生で学んだ人体の構造や生理学などについて、知識をもう一度整理しておく必要があると考えました。そういう意味で、総合的に栄養学の基礎から応用を学べる内容にしました。苦手が克服できれば幸いです。
栄養マネジメント論	高橋 加代子	・前期の方法では、スライドの説明不足があり、これから後期以降から3年生にかけても、その部分を補足して、重要な点は理解できるようにしてあげたいと思います。 ・栄養管理の流れや栄養ケアプロセスに関して、理解できているようなコメントが多く、今後の授業の中でも、復習や確認をしながら進めていきたいと思っています。
食品加工学 a	守田 和弘	コロナの影響によりオンデマンド型の授業となりましたが、総合的な満足度は全体平均より高いことから、概ね満足して学習いただけたものと思います。

[2020（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
		<p>コロナ禍で始めてオンライン授業を行うことになり、資料配付型のオンデマンド授業を行いました。私にとって初めての経験であり、従来以上にデジタル教材を取り入れるなどの工夫をしたつもりでしたが、オンライン授業を行うだけで教員として精一杯であったことから、学生さんたちには不満な授業であったことが理解できました。ごめなさい。特に、計算問題に苦労したこと、PC操作が苦手で苦労したこと、高校で文系コースにいたから理解できないことを書いている学生が例年以上に多かったことから、例年以上に理解に個人差が大きかったことが推測されました。この科目のありかたを含めて改善することをめざします。</p>
基礎化学	山崎 壮	<p>これまでの授業経験から、「基礎化学」で取り上げる履修内容に興味を感じる学生と興味を感じない学生の差が大きく、一人一人の理解に個人差が大きかったことがわかっていました。資料配付型のオンデマンド授業では、興味を感じない学生には配布資料を読んで自己学習することが困難ですから、「基礎化学」の履修者プロフィールのケースでは資料配付型のオンデマンド授業は不適切であり、対面型授業が好ましいとわかりました。皆さんには申し訳なかったと思っています。次年度は可能な限り対面型授業、それができない場合でもZoomによる映像配信授業にはすることにします。</p> <p>今後の専門科目の授業で「基礎化学」で取り上げたような高校の「化学基礎」の領域および栄養生化学領域でわからないことがあれば、質問に来てください。今度は対面で説明します。</p>
総合演習 b	松島 照彦	<p>難しかったと思いますが、皆さんとてもよく頑張りました。実力がついたという声があり、何よりです。</p>
給食マネジメント実習	山岸 博美	<p>通年の授業なので、後期もよろしくお願いします。</p>
調理学実験	数野 千恵子	<p>評価は概ね全体平均よりも高い。入学直後の専門科目で、日常に食している食品を、テーマにしていることが、学生の興味を引いていることが感じられた。調理の一つ一つの操作を科学的に考えてみるようにしましょう。</p> <p>なお、今年度はレポートの返却が授業内でできなかったことが反省点である。</p>
栄養マネジメント実習	森川 希	<p>今年度は、前半がメディア授業、後半は対面実習で、試行錯誤しながらの実習でした。</p> <p>前半のメディア授業に先立って印刷物を配布できなかったため、受講の際にご不便をおかけしてしまいました。</p> <p>また、manabaの機能を活用しきれず、課題のフィードバックがスムーズにできなかった回がありました。教員側の反省点です。</p> <p>一方で、対面実習は、通常どおりにはできなかったものの、安全に配慮し実施した範囲に関しては大変好評でした。</p> <p>アンケート回答者において、「この授業を通して自身の成長が実感できましたか」の問いに対し「とてもよくあてはまる」「どちらかといえばあてはまる」がほとんどであったことは嬉しい限りです。</p> <p>実習レポートの考察は難しかったと思いますが、管理栄養士として将来必要な思考力を身に付けられるよう、今後も内容を工夫していきたいと思います。</p>
栄養教育論実習 a	辛島 順子	<p>「栄養教育論実習a」では、2年次前期で学んだ行動科学理論やカウンセリングを実際の栄養教育現場で活用するための実習を行いました。</p> <p>今年度は、オンデマンド型と対面で実施しました。対面では感染予防対策のためグループワークへの配慮等が必要となりましたが、実習室管理などを含めたみなさんの協力、適切な行動のお陰でロールプレイなども実施することができました。</p> <p>限られた条件の下ではありましたが、グループワーク等を通してコミュニケーション力や課題解決力の向上につながっていることを期待します。</p> <p>後期の「栄養教育論実習b」においては、さらに理論の具体的理解が深まるように、ライフステージ別栄養教育についての実習を行います。</p>
調理学特別講義	中川 裕子	<p>オンデマンド形式については賛否両論の意見があった。</p> <p>何度も見直せることで復習ができたという意見があったのはよかったが、Q7、8、10が低く、オンデマンド用の動画がわかりづらいという意見もあった。Q15満足度を高められるような資料となるよう改善していきたい。</p>